

# LENGLREN news

## 全技連ニュース

January, 2022

No.011



### 目次

- 2 会長挨拶
- 3 堀内特別顧問挨拶
- 4 昨年の全技連の主な動き
- 7 今年的主要行事予定
- 8 令和3年度「全技連会長賞」受賞者
- 10 全技連マイスターそして現代の名工
- 11 令和3年度全技連マイスター認定者
- 12 令和3年度全技連マイスター更新認定者
- 14 販売商品のご案内

# 新年を迎えて思うこと



一般社団法人  
全国技能士会連合会  
会長  
**大関 東支夫**

*Toshio Oozeki*

## (コロナ禍で知った日本の力)

2年近く続いているコロナ禍ですが、皆様どのような新年をお迎えでしょうか。昨年末、新たな変異株「オミクロン」が出現し世界中で警戒体制に入っています。本来、ウイルスにはいろいろ形を変えて生き残る性質がありますので終息することはありません。今後も新たな変異株が出現し、従来株と入れ替わっていきますが、少しずつ収束の道に向かうと考えています。

幸い日本はワクチン接種率の増加や国民のマナー順守もあり感染者も大きく減少し収束への明るい光も見えてきました。昨年は危惧されていたオリンピックが無事に開催でき世界からは日本の対応力の高さを評価する声も聞こえてきます。またコロナ禍にですが上場企業の5社に1社が最高益を上げています。国や都の税収も増収が見込まれています。これは日本の危機対応力が発揮された結果だと思います。

## (今年はどうなるか)

コロナは収束していくと考えますが、課題も顕著になってきます。

一つは、従来の景気回復と異なりV字回復ではなくK字回復になります。回復軌道に乗れる人たちとコロナ禍の支援に頼ってきた人たちが破綻していく形に分かれ貧富の差が広まります。社会不安も重なり物騒な世の中になります。

二つ目は、経済活動が活発化することで人材不足、資材不足、物価の上昇、環境悪化が起きてきます。国家間格差も拡大し国家間の紛争が深刻になります。

特に中国は今年の秋に習近平総書記の再任時期となるため、文化大革命に似たような混乱も心配されます。世界が影響を受けます。

三つめは、新型コロナ禍が長引いたことで、世界経済が復活するには相当の期間が必要となります。第二次世界大戦後と同様の時代を覚悟しなければなりません。失業、株安、革命です。

日本はこれらの混乱や危機に的確に対応していかなければなりません。

いま世界で巨大な利益をあげているのはGAFAと呼ばれる4つのIT企業です。これらはIT全盛時代に見事に合致した企業です。しかし私はこうした「形の見えない空気のような産業」がいつまで隆盛を続けられるのか疑問視しています。産業の基本は「ものづくり」だという信念があるからです。いつの時代でも、ものづくりに視点をあてた「ひとづくり」が基本です。

日本には「衣食住工の手技を中心とした匠の技を持つ技能士」たちがいます。この人たちが健在でいる限りまた逞しく立ち直ります。これからが本当の底力を発揮するときです。

地方の技能士を活用し「ものづくりの場」を創世し「ものづくり城下町」を取り戻す。それが本当の地方創生です。匠の技は頼りになる日本の宝です。

## (国への要望)

昨年末に、私は永田町の自民党本部に出向き令和4年度の予算要望をしてきました。もう一度元気な日本を取り戻して欲しいからです。

1. 「こども庁」創設と同様に、技能士の抱える課題を総合的に相談、対応してくれる「ものづくり庁」又は「技能士庁」設置又は総合窓口の創設。

2. 新型コロナ感染拡大に伴う技能士向け支援策

特に仕事が激減している、調理師、和装着付、フラワー装飾など技能士の支援策と技能士として継続できる対応策。

3. 技能士活動が円滑にできる支援策の措置

(1) 全国及び地方の事務所費用、イベント費用等助成

(2) 後継者育成活動に要する経費(見習い期間5年程度の給与補助)助成

(3) 地方の災害支援の行える財政的支援(=地域ブロック別に)

これらの要望は今後も粘り強く要請していきます。特に昨年6月に全技連の特別顧問に就任していた堀内詔子(のりこ)(現ワクチン接種推進担当大臣及び東京オリンピック・パラリンピック担当大臣)議員とも連携を密にし、技能士に対する「国会での理解と協力」を強めていきます。

## (自分のことは自分で守る)

今年は寅年です。皆さんと寅のように元気に頑張りたい気持ちです。そのためには自分の健康が大事です。私自身で恐縮ですが、私もこの3月で79歳になります。有り難いことにドック検診ではどこも「異常なし」です。

私なりに健康の秘訣があります。次の5つです。種明かしをします。

① た : 食べること(身体に良いものを)

② ね : 寝ること(1日延べで8時間以上)

③ あ : 歩くこと(1週間で5万歩目標)

④ か : 快便(大腸を強くして免疫力を高める)

⑤ し : 仕事 & 趣味。

この5つの頭文字をとり「たねあかし」です。

人生100年時代です。

皆さん、健康に留意し明るく元気な年にしていきましょう。

# 新年のご挨拶



ワクチン接種推進担当大臣  
東京オリンピック・  
パラリンピック担当大臣

堀内 詔子

*Noriko Horiuchi*

コロナ禍が続いているが、皆様におかれましては清々しい新年をお迎えできたでしょうか。

昨年、環境省副大臣当時に大閑会長からご要請を受け令和3年6月から一般社団法人全国技能士会連合会の特別顧問に就任させていただいた衆議院議員の堀内詔子（のりこ）です。

全国技能士会連合会会員の皆様、どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

私は昨年10月4日に発足した岸田内閣におきまして、ワクチン接種推進担当大臣および東京オリンピック・パラリンピック担当大臣を拝命いたしました。どちらも課題山積のポストですが全力をあげて職責を果たしてまいります。

かつて厚生労働大臣政務官に就任しておりました時から、卓越技能者（現代の名工）表彰式や自民党本部主催の「予算・税制等に関する政策懇談会（労働）」に出席した際に、大閑会長と何度かお話しする機会があり、匠の技の奥深さや技能士の抱える課題等をお聞きしておりました。

私は、「ふるさとを思い、心の通う政治」を信条として政治に取り組んでおります。

地元山梨県の富士吉田職業訓練協会訓練校への視察や公共職業能力開発施設の訓練生を対象とした経済的支援に向けての活動を県と地元国会議員とともにに行ってきました。また地元に工場のある業務用洗濯機製作メーカーへの訪問、平成28年度には卓越した技能者（現代の名工）の表彰式で受賞者に表彰状をお渡しする機会もあり技能や技能士に深いご縁を感じております。

技能は日本のものづくりの基盤を支えていることも改めて考えさせられました。

日本の技能士は「勤勉な職人」「熟練の職人技」などと、世界で高い評価を受けていますが、置かれている社会的評価や経済的評価は必ずしも高いものではないように思います。技能士の高齢化や若者のものづくり離れによる後継者不足が深刻なことも承知しています。技能士不足はものづくりの危機だけでなく災害復旧や国土強靭化対策にとっても大きな問題です。まさに国土国民を守る危機です。

私は、このような状況が一日でも早く改善されるよう、問題意識を共有する同朋議員や全国技能士会連合会の皆様方と連携をし、少しでも、お力になれるよう頑張ってまいります。

最後になりますが、今年こそ新型コロナが収束し、経済産業活動が以前の元気を取り戻し、安心して日本の伝統的技能の継承と研鑽等にご尽力できることを願っております。

皆さま、今年も厳しい日が続きますが明るく元気に頑張りましょう。

# 昨年の全技連の主な動き

## 第31回技能グランプリ開催

第31回技能グランプリが、愛知県国際展示場（愛知県常滑市）など4会場で、令和3年2月19日（金）～22日（月）（一部の職種は先行して実施）に開催されました。全国から28職種に344人の熟練技能者が参加し技能日本一を競いました。今回は無観客での開催となったため、開閉会式はオンライン開催となりました。2月19日に愛知県国際展示場（常滑市）で行われた開会式では、大関会長の開会挨拶がYouTubeにて配信されました。また、全国技能士会連合会会長賞を長野県、埼玉県、京都府の3選手団が受賞されました。

## The 31st Skill Grand Prix



### 全国技能士会連合会会長賞

長野県選手団  
埼玉県選手団  
京都府選手団

## 令和2年度第2回通常理事会を開催



3月

3月19日（金）に東京洋服会館（東京都新宿区）において、令和2年度第2回通常理事会を、受付での検温、アルコール消毒、マスクの着用のほか、座席間にスペースをとり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を施し開催しました。決議事項として会費改定、令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）、令和3年度定時総会、定款変更の議案について審議され、全ての議案が満場一致で原案どおり承認決議されました。引き続いて令和2年4月以降の業務執行報告があり、閉会となりました。

## 令和3年度第1回通常理事会並びに定時総会を開催



6月

6月22日（火）にアルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）において、令和3年度第1回通常理事会並びに定時総会を開催しました。通常理事会においては、受付での検温、アルコール消毒、マスク着用のほか、座席間にスペースをとり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を施し開催しました。決議事項として、令和2年度事業報告及びその附属明細書の承認、令和2年度貸借対照表並びに損益計算書及びその附属明細書の承認、令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算の変更の承認、常務理事の選定について審議され、全ての議案が、満場一致で原案どおり承認決議されました。引き続いて令和3年4月以降の業務執行報告があり、閉会となりました。

（5ページ右上につづく ↗）

6月



定時総会においては、議長席等発言者の席にアクリル板を設置し、出席者の座席を交互に配置するなど新型コロナウィルス感染拡大防止対策を施し開催しました。大関会長より開会にあたっての挨拶の後、議事に入りました。令和2年度事業報告に統いて、決議事項として、令和2年度貸借対照表並びに損益計算書及びその附属明細書の承認、令和3年度事業計画及び令和3年度収支予算の承認、理事の選任、会費改定について審議され、全ての議案が原案どおり承認決議されました。

7月

## 全技連マイスター第2次審査をレポート提出により実施

昨年度と同様、今年度も新型コロナウィルス感染拡大防止のため、第2次審査を兼ねた講習会を中止し、第1次審査に合格された90名のうち、90名が3つのテーマ(①技能伝承・後継者育成の重要性、必要性について、②現在行っている(過去に行った)技能伝承・後継者育成について、③これまでに手掛けた仕事、作品の中で自信作、思い出に残る作品について)、から1つのテーマについてレポートを提出されました。レポートの内容と審査委員の評価により、今年度の全技連マイスターを認定しました。

なお、令和3年度全技連マイスター認定者及び平成28年度認定者並びに平成28年度更新認定された方々に対する更新認定者の一覧を11頁～13頁に掲載しております。

10~12月

## 全技連事業検討会を開催

令和2年度に開催した「会費改定検討委員会」において、全技連の事業内容、経費の削減、あり方等について、引き続き、検討するよう指摘があったことから、「全技連事業検討会」を開催し、都道府県技能士会・連合会の協力を得て、全技連の事業内容を検討しました。

検討内容については、全技連事業内容等の見直しの参考とし、理事会にも報告させていただきます。

### 【開催方法】

- Zoom 無料アプリを活用

### 【検討内容及び開催日時】

第1回 全技連マイスター事業	10月19日(火) 13:30～15:30
第2回 全国技能士大会事業(全技連会長表彰を含む)	11月9日(火) 13:30～15:30
第3回 情報提供事業 (全技連ホームページ、技能士のいるお店、全技連ニュース、広告事業等)	11月30日(火) 13:30～15:30
第4回 販売事業(技能士カード、章記等)	12月9日(木) 13:30～15:30
第5回 あり方等	令和4年 1月13日(木) 13:30～15:30

### 【参加者及び申込方法】

- 参加希望者をメールで連絡
- 検討内容が事業内容や経費が中心となることから、事務方(専務理事・事務局長及び事務局)出席が望ましい

### 【資料及び議事録等について】

- 事前に検討会資料を都道府県技能士会・連合会に送付
- 参加できない都道府県技能士会・連合会で、ご意見等がある場合は事前に送付
- 検討会後、議事録を都道府県技能士会・連合会に送付

## 令和3年度度卓越した技能者の表彰式行われる

厚生労働省では、令和3年度の「卓越した技能者(現代の名工)」の表彰対象者150名を決定し、11月8日(月)にリーガロイヤルホテル東京(東京都新宿区)で表彰式が行われ、全技連マイスターから38名の方々が表彰されました。「全技連マイスターそして現代の名工」に受賞者の一覧を10頁に掲載しております。

11月

## 自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」へ参加

11月25日(木)に自由民主党本部(東京都千代田区)で開催された「予算・税制等に関する政策懇談会」において、下記要望書を提出するとともに、大関会長から令和4年度予算をはじめ、技能士への支援を強く訴えました。

令和3年11月25日

自由民主党

組織運動本部 労働関係団体委員長 吉川 越様

政務調査会 厚生労働部会長 牧原 秀樹様

一般社団法人 全国技能士会連合会

会長 大関 東支夫

2年近く続いているコロナ禍ですが、ワクチン接種率の増加等もあり感染者も大きく減少し収束への明るい光も見えてきた昨今です。また危惧されていたオリンピックも無事に終了できたことで世界からは日本の対応力の高さを評価するニュースも聞こえています。これらは何れも自民党政権の大きな尽力があったからこそと感謝しております。

これからコロナが収束していくにつれて課題も顕著になってきます。

一つは、従来の景気回復と異なりV字回復する姿はみられません。回復軌道に乗れる産業・企業・国民とコロナ禍の支援に頼ってきた企業、商店、国民が今後は倒産、破綻していくK字回復になります。物騒な世の中になります。

二つ目は、経済活動が活発化することで人材不足、物価の上昇、環境悪化が続きます。国家間の紛争も多発します。

三つめは、新型コロナが世界中に蔓延したことと、今後、新型コロナが収束したとしても世界経済が復活するには相当の期間が必要となります。第二次世界大戦後の世界と同様の時代を覚悟しなければなりません。

第二次世界大戦では敗戦国となった日本とドイツでしたが、いち早く立ち直り世界の経済大国にまで進出した要因は「ものづくり」があったからだと言われます。

この日本のものづくりの土台を担ってきたのが、「衣食住工の手技を中心とした匠の技を持つ技能士たち」でもありました。この人たちが健在でいる限り、日本はまた逞しく立ち直ります。

これからが日本の本当の底力を發揮するときです。

もう一度、地方から「ものづくりの場」を創世し元気な「ものづくり城下町」を取り戻す。それが地方創生です。匠の技は頼りになる日本の宝です。

この日本の宝、現役の技能士は全国で372万人いると言われます。家族まで含めれば700万人(参考:専業農家は約200万人)を超える大職業群です。しかし、経済的、社会的にみれば厳しい環境下に置かれています。

その原因は

- ① 長引く円高対応、少子化による人の確保対応等から「ものづくり」の現場が海外移転し日本の技術、技能までが流出した。
- ② 地方からものづくりの現場が消えたことで地方の技能士の必要性、活躍の場が薄れ経済的地位、社会的地位の低下となつた
- ③ 技能を習得するためには半抱に耐えなければならないため、薄給での技能士を希望する若者が激減。後継者不足が年々深刻になつた。
- ④ これまで技能士育成の大きな担い手だった企業も生産現場縮小に伴い自前の技能士を養成しなくなつた
- ⑤ 個人技能士(親方)が後継者育成に取り組んでいますが、弟子がお金を稼げるまでには数年かかる。しかし見習い期間中でも月20万円程度給与を支給しないと若者は定着しない。これを負担できる親方はほとんどいなくなつた

- ⑥ 特に建設系技能者(鳶、大工、屋根瓦、瓦、左官、内装等)不足は深刻。東日本や熊本大震災、全国各地の台風被害の復興、国土強靭化対策にも大きな支障が起きている。技能士不足は単にものづくりの危機だけでなく「日本の国土、国民を守る危機」になっている
- ⑦ 被災地の窮状を見かねて、技能士会としても全国規模での被災地支援や技能士育成を計画したが、財政面、技能士不足、受け入れ態勢等の問題があり頓挫した。根底には11年前の民主党政権下での事業仕分けで、全技連に約4,000万円措置されていた補助金が全額カットされたことが致命的となった。同時に国の補助が消えたことで地方自治体からの補助も削減され地方組織の解体、全技連活動からの離脱等が続いている。
- ⑧ これら幾つかの課題や悩みを総合的に取り組み対応してくれる「パートナーとしての機関」が国、地方とも皆無であるこのため下記のとおり要望します。

### 要 望 書

1. 技能士の抱える課題を総合的に相談、対応してくれる国の機関として「ものづくり庁」又は「技能士庁」の設置又は総合窓口の創設。

現在、技能士の認定は厚生労働省。養成は職業訓練校や個人技能士、民間企業。文部科学省所管の専門学校。

技能士の活用・支援は、伝統工芸、洋装等は経済産業省。

建設系は国土交通省。官大工等は文科省。調理関係は農林水産省等。

そして叙位・叙勳等手続き格付けも省庁によりマチマチです。正に縦割オンパレードの常態。どこの省庁がメインなのかも分からぬ。

370万人余の職業人としての技能士の進展過程にあわせた、育成、医療・年金等福利厚生、開業資金等独立支援、マーケティング・商品開発等経営サポート、3D印刷・IT技術等時代の進化に対応等を総合的に取り組んでいただける機関、総合窓口の設置。

2. 新型コロナ感染拡大に伴う技能士向け支援策  
自民党のご尽力により、新型コロナの救援対策が多方面にわたり出されていることに感謝いたします。

ただ、企業や店の経営者には幾つかの支援策が適用されますが、「一人親方」的な立場の技能士の多い調理師、和装着付、フラワー装飾など仕事が激減している技能士の支援策がほとんどない。

今後も技能士として継続できるような対応策を検討願いたい。

3. 技能士活動が円滑にできる支援策の措置  
(1) 全国及び地方の技能士会活動が円滑にできるよう事務所費用(家賃、事務職員給与等補助)、イベント費用等(会場使用料、資材運搬、材料費)助成

(2) 後継者育成活動に要する経費(見習い期間5年程度の給与補助)助成

(3) 地方の災害支援の行える財政的支援(=地域ブロック別に編成)

① 鳶、屋根瓦、大工、左官等職人の派遣費用

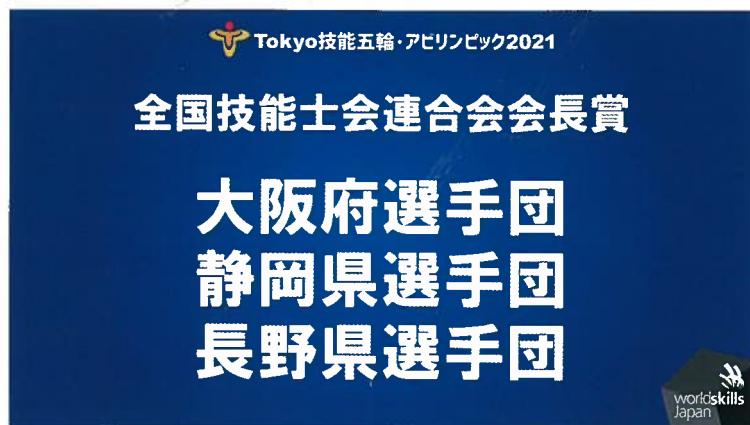
② 瓦、瓦、家具、作業資材等送付費用

③ 「地域災害お助け隊(仮称)」の整備支援

## 第59回技能五輪全国大会開催される

第59回技能五輪全国大会が、東京ビックサイト（東京都江東区）など14会場で、12月17日（金）～20日（月）（一部の職種は先行して実施）に開催されました。全国から42職種の競技に1,028人の選手が参加し、技を競い合いました。今年度も無観客での開催となり、開閉会式はオンライン開催となりましたが、全国技能士会連合会長賞（特別賞）に大阪府、静岡県、長野県の3選手団が受賞されました。おめでとうございます。

また、技能五輪全国大会の併催イベントとして開催された内装仕上げ施工競技大会において、1位の選手に大関会長より全技連会長賞の賞状とトロフィーが授与されました。



## 全技連の今年（令和4年）の主要行事

令和3年度 第2回通常理事会	3月18日(金)	東京洋服会館
令和4年度 全技連マイスター認定申請・ 平成29年度認定者及び更新認定者の 全技連マイスター更新認定申請	申請期間：4月1日(金)～5月20日(金)	
令和4年度 第1回通常理事会・定時総会	6月27日(月)	アルカディア市ヶ谷(千代田区九段北)
▶ 第1回通常理事会	12:30～13:30	
▶ 定時総会	14:00～15:30	
令和4年度 会長表彰状贈呈者の推薦申請	申請期間：6月末～7月末	
令和4年度 全技連マイスター第2次審査講習会	7月22日(金)	アルカディア市ヶ谷
第40回全国技能士大会	11月2日(水)	アルカディア市ヶ谷

令和3年度  
「全技連会長賞」受賞者の皆さん

長年にわたり、技能振興及び技能士会活動について優秀な実績を残された事業所・団体及び功労者と  
会員技能士団体の永年勤続者に対して毎年全技連会長から受賞者に贈呈されるものです。

(敬称略・順不同)

**1 技能振興事業及び技能士会活動に係る事業所又は団体 (16 団体)**

都道府県	事業所又は団体	役職	代表者氏名
山形県	山形県印刷業組合技能士会	会長	児玉 良治
埼玉県	埼玉県塗装業協同組合技能士会	会長	小畠 忠義
	富士電機機器制御㈱ 吹上事業所技能士会連合会	会長	近藤 和弘
愛知県	日本車輌技能士会	代表	宮坂 達也
	ジェイテクト技能士会	代表	石川 弘行
	アイシン技能士会	代表	大橋 芳幸
	三菱重工名古屋	管理部冷熱業務 グループ	今枝 浩之
	デンソー技能士会	代表	石野 浩良
	愛知県屋根工事業組合技能士会	組合長	磯村 秀之
	豊和工業技能士会	代表	永井 誠一
	中部ダクト工業協同組合	理事長	村上 友章
	全愛知建設労働組合	技術対策部長	曾我 辰也
	愛知県建設組合連合	技術部長	浅田 朋憲
	村田機械(株)	正社員 丸山機械グループ	正村 哲治
	トヨタ自動車(株)	代表	田中 早人
鹿児島県	鹿児島県農業機械商業協同組合農業機械整備技能士会	理事長	田中 俊賀

**2 技能振興事業及び技能士会活動に係る功労者 (117 名)**

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
北海道	末田 好春	岩見沢市技能協会	会長
	工藤 秀雄	北見地方技能士会	会長
	高木 好一	北海道アスファルト防水技能士会	前会長
	楠茂 政則	十勝技能協会連合会	副会長
	鹿子嶋 雄一郎	北海道日本調理技能士会	会長
岩手県	佐々木 佳光	岩手県日本調理技能士会	監査役
	菊地 政義	奥州金ヶ崎地区技能士会	幹事
	尾形 香	東磐地区技能士会	会長
宮城県	川名 酒治	宮城県味噌醤油工業協同組合技能士会	顧問
	伊藤 博志	宮城県日本調理技能士会	副会長
秋田県	今野 敏範	秋田県建具組合技能士会	
	阿部 正一	秋田県鹿角地区技能士会	専務理事
山形県	天野 稔二	株式会社天野左官	代表取締役
	今野 久仁正	山形県造園業組合連合会	会長
福島県	七海 力夫	福島県型枠工業事業協会技能士会	会長
茨城県	中嶋 敏雄	茨城県建築板金技能士会	副会長
	反町 雅幸	茨城県鳶・ブロック建築技能士会	副会長
栃木県	小林 俊明	栃木県技能士会連合会	会長
	鈴木 康晶	栃木県石工技能士会	会長
群馬県	柿沼 一郎	群馬県タイル技能士会	相談役
	土橋 浩二	群馬県熱絶縁技能士会	会長
	小豆畑 征勝	群馬県プラスチック成形技能士会	会長

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
群馬県	小山 一也	群馬県紙器ダンボール箱技能士会	会長
	阿久津 秀	群馬県印章彫刻技能士会	副会長
埼玉県	石井 朋昌	埼玉県畳技能士会	理事・相談役
	塙田 孝司	埼玉県表具内装組合連合会技能士会	理事・前会長
千葉県	綱嶋 茂信	千葉県タイル住器工事組合	組合長
東京都	平山 留美	東京都裁技能士会	研究部副部長
	山崎 秀一	東京都タイル技能士会	理事
	竹内 信之	東日本プラスチック成形技能士会	理事
	山上 亮	(一社) 東京都日本調理技能士会	理事
	上野 義昭	東京都ミシン商工業協同組合技能士会	前監事
	藤元 晶扇	東京都椅子張り技能士会	副会長
	我妻 徳久	東京建具協同組合技能士部会	役員
	山本 正輔	東京建具協同組合技能士部会	役員
	家内 千恵子	日本ファッションクリエーター協会技能士部会	会長
神奈川県	岩崎 秀雄	(一社) 日本建築大工技能士会横浜支部横浜協同建設会	会長
	紙谷 保	(一社) 横須賀三浦建設協会技能士会	専務理事
	内田 和雄	神奈川県建具協同組合	教育情報室長
	柴田 勝義	神奈川県左官業組合連合会技能士会	理事
	安積 孝郎	神奈川県瓦屋根工業連合会技能士会	副会長
新潟県	片桐 清司	新潟酒造技術研究会技能士会	顧問
	網干 千代子	新潟県裁技能士会	副会長
富山县	平瀬 秋男	富山県石工技能士会	理事・技術指導部部長
	中村 賦信	富山県表具師文化協会	理事・監査
	藤本 伸二	富山県日本調理技能士会	本部長
	谷口 義博	富山県農業機械商業協同組合技能士会	幹事
石川県	宮下 昭造	(一社) 日本塗装工業会石川県支部	副支部長
福井県	部谷 保	(一社) 福井県日本調理技能士会	副会長
山梨県	石川 春雄	山梨県左官技能士会	会長
	山宮 一哲	山梨県造園技能士会	理事
	宮下 尊之	山梨県富士吉田建設技能士会	会長
	小池 净	山梨県貴金属装身具技能士会	前会長
	高橋 正幸	山梨県調理師庵心会技能士会	会長
岐阜県	鈴木 博俊	岐阜県調理技能士会	理事
	稻垣 孝俊	岐阜県調理技能士会	理事
	丹羽 正	岐阜県瓦葺技能士会	
静岡県	藤田 明治	静岡県広告美術業協同組合	
	渡部 正紀	静岡県日本調理技能士会	副会長
	中居 輝孝	静岡県日本調理技能士会	常任理事
	伏見 一雄	静岡県板金工業組合技能士会	副理事長
	長田 浩	静岡県浜松建築業組合技能士会	前会長
三重県	向井 浩高	三重県寝具技能士会	
	藤本 拓司	三重県建具工業協同組合	理事・鈴鹿支部長
滋賀県	木下 奉文	滋賀県板金工業組合技能士会	理事
京都府	新妻 常蔵	京都府紳士服技能士会	会長

(敬称略・順不同)

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
京都府	福井 均	京都府建築大工技能士会	会長
	花登 一彦	京都府すし料理調理技能士会	会長
大阪府	岩間 辰夫	大阪府建築板金技能士会	相談役
	夏目 健一	OAC 広告美術技能士会	副会長
	酒井 治夫	大阪府木工技能士会	相談役
兵庫県	山本 卓示	兵庫県西洋調理技能士会	会長
	大谷 肇	兵庫県瓦葺き技能士会	会長
	柴田 光啓	兵庫県表具内装組合連合会	会長
和歌山县	児嶋 悟	和歌山県洋菓子技能士会	会長
	高幣 久敬	和歌山県造園建設業協会	相談役
	角田 廣数	和歌山県畠技能士会	副会長
鳥取県	福谷 直美	鳥取県左官業協同組合	理事長
島根県	竹内 洋介	島根県タイル技工会	会長
	河原 知栄	島根県洋装技能士会	会長
	吾郷 道弘	平田技能士会	会長
岡山県	柘野 公章	岡山県写真家協会技能士会	副会長
	竹森 孝治	岡山県屋外広告美術技能士会	監事
広島県	益田 忠	(一社) 日本和裁士会広島県支部	会長
徳島県	日下 雅美	徳島県と裁技能士会	
	水主 圭三	徳島県造園技能士会	監事
	三好 一朗	徳島県印章彫刻技能士会	会長
香川県	神野 伊津子	香川県洋裁技能士会	事務局長
愛媛県	久保田 昌司	愛媛県調理師会	副会長
	田中 ひとみ	愛媛県と裁技能士会	会長
	阿部 憲政	今治タオル技能士会	理事
福岡県	竹下 茂満	福岡県建具・木工協同組合	前理事長
	長 邦彦	福岡県表具内装組合連合会	前副会長
	西木 廣幸	(一社) 全日本司厨士会西日本地方福岡県本部	会長

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
福岡県	徳永 和則	福岡県印章業組合連合会	監事
佐賀県	塚本 喜紀	佐賀県鉄筋技能士会	副会長
	梅崎 登	佐賀県板硝子商協同組合技能士会	
	森田 久美	佐賀県室内装飾技能士会	
熊本県	塩田 一	熊本県左官協同組合	副理事長
	丹波 英二	熊本県室内装飾事業協同組合	副理事長
	山本 勝一	熊本県板金工業組合	代表理事
	岡本 泰文	熊本県瓦工業組合	理事
	福永 力三	(一社) 熊本県優良住宅協会	理事上席顧問
宮崎県	上米良伸行	宮崎県型枠技能士会	副会長
	吉行 博己	宮崎県表装技能士会	会長
	松浦 秀次	宮崎県鳶技能士会	会長
沖縄県	安里 明	沖縄県防水施工技能士会	会長
	金城 加代子	沖縄県と裁技能士会	前副会長
	吉田 良江	沖縄県和裁技能士会	副会長
	佐藤 圭子	沖縄県フラー装飾技能士会	監査
	與那嶺 肇	(一社) 日本塗装工業会沖縄県支部	監事
全国寝具技能士会連合会	高柳 茂	静岡県寝具制作技能士会	副会長
(一社) 全国日本調理技能士会連合会	山本 達正	東京都日本調理技能士会	理事
	熱田 浩志	東京都日本調理技能士会	理事
	杉山 浩一	東京都日本調理技能士会	理事
全日本貴金属技能士会連合会	林 卓真	東京都日本調理技能士会	常任理事
	洗谷 純希	新潟県貴金属技能士会	会長

### 3 都道府県技能士会・連合会及び各職種技能士会・連合会役職員(1名)

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
北海道	高野 裕	(一社) 北海道技能士会	前専務理事



# 全技連マイスター そして 現代の名工

全技連マイスターの方で、令和3年度「現代の名工」に選定された方々をご紹介します。

## 現代の名工

卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適性に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めることを目的としています。

被表彰者は、①きわめてすぐれた技能を有する者、②現に表彰に係る技能を要する職業に従事している者、③技能を通じて労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者、④他の技能者の模範と認められる者、のすべての要件を充たす者であって、都道府県知事、全国的な規模の事業を行う事業主団体若しくはその連合体又は一般社団法人若しくは一般財團法人、その他当該表彰を受ける者の推薦に当たる者が推薦した者のうちから、厚生労働大臣が技能者表彰審査委員の意見を聴いて決定されます。

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名
平成 16 年度 福岡県 齊藤 雅彦	和裁	
宮城県 濵谷 みよ子	和裁	
平成 17 年度 東京都 廣谷 きくゑ	婦人子供服製造	
平成 18 年度 和歌山县 中村 静男	建築大工	
福島県 宗像 正	表装	
平成 19 年度 三重県 伊藤 孝行	寝具製作	
山形県 土岐 正富	調理(日本料理)	
東京都 三塚 晴司	貴金属装身具製作	
岩手県 八幡 富士男	写真	
平成 21 年度 福島県 金澤 良吉	建具製作	
兵庫県 松田 伸一	表装	
平成 22 年度 青森県 小林 克己	家具製作	
福島県 吉田 克浩	畳製作	
平成 23 年度 神奈川県 松岡 繁友	表装	
平成 24 年度 愛媛県 越智 將人	造園	
奈良県 河村 正英	調理(日本料理)	
青森県 佐藤 千鶴子	婦人子供服製造	
沖縄県 福田 宗男	広告美術仕上げ	
平成 25 年度 京都府 林 正信	左官	
平成 26 年度 山口県 荒木 泰司	建築大工	
宮城県 鹿野 佐一	調理(西洋料理)	
平成 27 年度 青森県 齊藤 正美	建具製作	
石川県 宮本 修一	建築大工	
平成 28 年度 茨城県 安達 克敏	建具製作	
福岡県 荒木 富士男	左官	
愛知県 岩瀬 幸博	建築大工	
東京都 加瀬 秀雄	調理(日本料理)	
大阪府 酒井 治夫	家具製作	
石川県 下代 康久	調理(日本料理)	
東京都 藤井 祐夫	かわらぶき	
神奈川県 松枝 康雄	かわらぶき	
平成 29 年度 埼玉県 栗原 恒明	かわらぶき	
長野県 桑原 晴彦	化学分析	
平成 30 年度 兵庫県 谷川 奉見	印章彫刻	
令和 1 年度 福井県 熊野 佳彦	とび	
愛媛県 篠原 伸明	調理(西洋料理)	
令和 2 年度 柏木県 伊藤 邦夫	レストランサービス	
埼玉県 川口 浩二	電気機器組立て	

(敬称略・順不同)

令和3年度  
全技連マイスター決定

(27職種 90名)

「全技連マイスター事業」は、技能士が有する優れた技能と知識を次の世代に伝承することを目的として、平成15年度に創設されました。  
全技連マイスターの活躍の場が徐々に増えつつあるという情報を各地から頂いており活躍が認められるようになってきています。

令和3年度全技連マイスター認定者（推薦団体別）

(一社) 北海道技能士会	田 安 透	調理(日本料理)	(一社) 三重県技能士会	岩 城 和 也	調理(日本料理)
青森県技能士会	梅 田 弥 昇 彦	調理(日本料理)	京都府技能士会連合会	植 中 亮	型枠施工
	小 田 桐 憲 一	家具製作		奥 田 隆 夫	タイル張り
	古 山 丙 午	左官		西 口 文 哉	型枠施工
	桜 田 聰	建築大工		長 谷 川 正 樹	左官
	関 川 み つ 子	和裁		森 賢 夫	防水施工
	附 田 札 子	和裁		吉 田 康 雄	建具製作
山形県技能士会	会 田 勝 弘	調理(日本料理)	(一社) 大阪府技能士会連合会	東 千 恵 子	フラー装飾
	大 中 利 文	建築板金		岡 本 吉 隆	表装
	須 藤 敏 夫	家具製作		安 岡 昌 雄	帆布製品製造
	吉 田 明 彦	建築板金	兵庫県技能士会連合会	清 水 孝 信	調理(日本料理)
福島県技能士会連合会	荒 井 勝 祐	漆器製造	島根県技能士会連合会	伊 藤 誠	建築大工
	野 内 晶	調理(日本料理)		小 村 幸 正	調理(日本料理)
茨城県技能士会連合会	椎 木 政 勝	かわらぶき		平 尾 春 美	和裁
	廣 瀬 祐 一	石材施工	香川県技能士会連合会	北 村 隆 明	調理(日本料理)
栃木県技能士会連合会	阿 久 津 清 孝	塗装	愛媛県技能士会	大 谷 利 正	タイル張り
(一社) 群馬県技能士会連合会	阿 久 澤 政 幸	左官		宮 本 正 一 郎	配管
	後 藤 重 成	建築大工	(一社) 福岡県技能士会連合会	上 田 博 樹	表装
	鍋 谷 由 紀 一	建具製作		野 田 部 寛 之	婦人子供服製造
	町 田 晓 仁	印章彫刻		福 原 将 臣	かわらぶき
	緑 垒 城	内装仕上げ施工		松 永 英 久	建築板金
(一社) 埼玉県技能士会連合会	北 田 勝 彦	建築大工	(一社) 熊本県技能士会連合会	伊 藤 英 治	塗装
千葉県技能士会連合会	山 本 儀 広	調理(日本料理)		亀 川 二 人	建築大工
(一社) 東京都技能士会連合会	阿 部 道 雄	建築板金		前 田 清 和	左官
	稻 田 圭 二 郎	石材施工		矢 野 光 夫	表装
	岡 内 太 郎	貴金属装身具製作	(一社) 大分県技能士会連合会	門 克 典	フラー装飾
	金 澤 徳 久	タイル張り	鹿児島県技能士会連合会	愛 内 正 信	造園
	高 尾 信 二	プラスチック成形	(一社) 沖縄県技能士会連合会	金 城 勇 人	調理(日本料理)
	森 川 邦 彦	貴金属装身具製作	(一社) 全国日本調理技能士会連合会	宇 田 川 純 男	調理(日本料理)
神奈川県技能士会連合会	佐 藤 剛 一	左官		萩 原 章	調理(日本料理)
	砂 川 貴 幸	畳製作	全国石材技能士会	木 村 希	石材施工
	中 村 順 一	かわらぶき		中 村 泰 之	石材施工
	松 岡 豊 和	表装		姫 田 和 雄	石材施工
新潟県技能士会連合会	稻 田 祐 栄	酒造	全日本貴金属技能士会連合会	佐 野 信 正	貴金属装身具製作
	野 元 真 善	調理(日本料理)		西 沢 久 美	貴金属装身具製作
富山県技能士会連合会	追 分 勝	表装		早 板 剛	貴金属装身具製作
	谷 口 和 尋	建築板金	(公社) 日本全職業調理士協会	永 田 鉄 也	調理(日本料理)
(一社) 石川県技能士会	武 原 俊 彦	造園		渡 部 建	調理(日本料理)
山梨県技能士会連合会	齋 浩 二	貴金属装身具製作	(一社) 日本内装仕上技能士会連合会	田 中 宏 作	表装
	中 山 知 恵	フラー装飾		細 井 覚	表装
	柳 田 国 夫	内装仕上げ施工		丸 田 武 史	表装
長野県技能士会連合会	渡 邊 猛 夫	かわらぶき		村 上 康 規	表装
(一社) 静岡県技能士会連合会	大 山 広 幸	調理(日本料理)		吉 田 武 則	表装
	上 村 浩 太	広告美術仕上げ	全日本椅子張同業組合連合会	中 嶋 馨	家具製作
	川 崎 明 香	婦人子供服製造			
	塩 沢 正 之	かわらぶき			

令和3年度  
全技連マイスター更新認定者

(H23年度認定: 24職種 58名 H28年度認定: 26職種 116名)

平成 28 年度に全技連マイスターに認定された者及び全技連マイスター更新認定された者のうち、  
5 年を経過して更新認定された方々は次のとおりです。

**令和 3 年度全技連マイスター更新認定者 (都道府県別)**

北海道	平成 28 年度	伊豆倉 淳	写真	東京都	平成 28 年度	松本 光雄	塗装
		工藤 泰子	婦人子供服製造			山崎 雅子	婦人子供服製造
		沼久内 義直	調理 (日本料理)			一色 審治	調理 (日本料理)
青森県	平成 23 年度	竹浪 盛弘	建築板金			加瀬 秀雄	調理 (日本料理)
		前田 博	塗装			西宮 孝	調理 (日本料理)
	平成 28 年度	石澤 曜夫	広告美術仕上げ			村上 治久	内装仕上げ施工
		成田 浩二	建築板金			堺見 由勝	表装
宮城県	平成 23 年度	菱沼 文男	調理 (日本料理)	神奈川県	平成 23 年度	松岡 繁友	表装
		藤川 幸子	婦人子供服製造			武井 良雄	印章彫刻
	平成 28 年度	大澤 友之	表装		平成 28 年度	石川 元久	和裁
		井澤 茂美	調理 (日本料理)			川本 勉	タイル張り
秋田県	平成 28 年度	佐藤 光昭	調理 (日本料理)			本間 健治	内装仕上げ施工
山形県	平成 23 年度	阿部 政美	調理 (日本料理)			松枝 康雄	かわらぶき
		久我 友紀	婦人子供服製造			山本 牧子	婦人子供服製造
		高橋 久雄	印章彫刻			水嶋 祥貴	印章彫刻
	平成 28 年度	伊藤 寛二	調理 (日本料理)			井ノ上 洋一	家具製作
		原田 正一	左官	新潟県	平成 23 年度	飯田 一郎	畳製作
		後藤 吉晴	家具製作			池田 民樹	建築大工
福島県	平成 28 年度	齋藤 雅行	調理 (日本料理)		平成 28 年度	内田 岳志	貴金属装身具製作
		矢木 裕彦	石材施工			片桐 清司	酒造
茨城県	平成 28 年度	安達 克敏	建具製作			瀬川 義昭	調理 (日本料理)
		坂口 登	石材施工			山岸 芳治	建築大工
		日高 重造	かわらぶき	石川県	平成 23 年度	中村 清光	建築大工
		益子 公一郎	樹脂接着剤注入施工			山村 紀美枝	和裁
群馬県	平成 23 年度	佐々木 修司	調理 (西洋料理)		平成 28 年度	井表 登喜美	和裁
	平成 28 年度	登山 真由美	和裁			下代 康久	調理 (日本料理)
		萩原 悅子	和裁	福井県	平成 28 年度	奥村 真津子	和裁
		吉田 茂	左官			畠地 久満	調理 (日本料理)
埼玉県	平成 23 年度	池ノ内 登	表装			東野 幸雄	造園
		篠原 雅之	石材施工	山梨県	平成 23 年度	三枝 富一	貴金属装身具製作
	平成 28 年度	井上 和夫	表装			櫻井 彰一	内装仕上げ施工
		沼田 弘	建築板金			長谷部 光二	建築大工
		野本 藤男	左官		平成 28 年度	権正 恒一	畳製作
		飯野 澄男	石材施工			中山 元	建築板金
		高橋 恵子	婦人子供服製造			藤澤 一雅	貴金属装身具製作
		大林 賢吾	家具製作			宮下 博邦	塗装
千葉県	平成 28 年度	渡辺 正美	調理 (日本料理)			後藤 尚久	貴金属装身具製作
		黒田 廣昭	調理 (日本料理)	長野県	平成 23 年度	石上 正治	調理 (日本料理)
東京都	平成 23 年度	上野 洋	和裁		平成 28 年度	安藤 弘文	表装
		宮川 美子	婦人子供服製造			橋本 博重	フラー装飾
		梅田 雅弘	寝具製作	岐阜県	平成 23 年度	太田 伸正	かわらぶき
		吉田 素子	婦人子供服製造		平成 23 年度	猪爪 康之	調理 (日本料理)
		佐藤 順子	婦人子供服製造			海野 克己	かわらぶき
	平成 28 年度	小林 裕人	調理 (日本料理)			藤井 一	配管
		佐山 明仁	家具製作		平成 28 年度	石澤 光太郎	建築大工
		鈴木 一彦	家具製作			佐野 一吉	造園
		鶴丸 礼子	婦人子供服製造			野尻 辰男	調理 (日本料理)
		藤井 稔夫	かわらぶき	愛知県	平成 23 年度	磯貝 太寿	かわらぶき

令和3年度全技連マイスター更新認定者（都道府県別）

愛知県	平成 23 年度	太田 一彦	家具製作	山口県	平成 28 年度	村上 弘	表装
	平成 28 年度	岩瀬 幸博	建築大工	香川県	平成 23 年度	大島 敬子	和裁
		川口 博敬	建具製作			濱崎 加代子	婦人子供服製造
		楠名 康弘	石材施工		平成 28 年度	石川 雄一	左官
		神尾 尚宏	印章彫刻	愛媛県	平成 23 年度	岡田 憲明	調理（日本料理）
三重県	平成 23 年度	伊藤 雅長	かわらぶき	福岡県	平成 23 年度	岩見 照美	婦人子供服製造
		金谷 繁輝	調理（日本料理）		平成 28 年度	荒木 富士男	左官
	平成 28 年度	澤 節生	調理（日本料理）			大嶽 春義	貴金属装身具製作
		谷本 雅一	石材施工			塩塚 哲夫	調理（西洋料理）
		筒井 英樹	放電加工			田中 恵子	フラワー装飾
		服部 竜大	かわらぶき			辻 忠明	表装
滋賀県	平成 28 年度	清本 健次	調理（日本料理）			堤 志保美	婦人子供服製造
京都府	平成 23 年度	小森 達男	和裁			森山 真一	調理（日本料理）
		将野 義雄	菓子製造			幸 純	和裁
		三上 比路子	フラワー装飾			柴田 玲子	婦人子供服製造
		村田 良智	かわらぶき	佐賀県	平成 28 年度	小林 伸語	印章彫刻
		山下 弥壽男	印章彫刻			権藤 美和子	フラワー装飾
大阪府	平成 23 年度	植木 洋一	建築板金	長崎県	平成 23 年度	今村 隆光	陶磁器製造
		山本 幸司	内装仕上げ施工	熊本県	平成 23 年度	隈本 妙子	フラワー装飾
	平成 28 年度	酒井 治夫	家具製作			中村 隆	鉄筋施工
		福田 幸治	表装			那須 正美	調理（日本料理）
		石崎 哲雄	家具製作			村田 安利	防水施工
兵庫県	平成 23 年度	柴田 光啓	表装		平成 28 年度	魚返 倫央	表装
		武本 元秀	調理（日本料理）			中山 唯和	型枠施工
	平成 28 年度	乾 泰夫	造園			平田 和弘	彫製作
		片桐 千尋	フラワー装飾			松本 健二	建築板金
		橋高 利信	印章彫刻			緒方 龍二	調理（日本料理）
		元宗 邦弘	調理（日本料理）	鹿児島県	平成 23 年度	上田 晴美	和裁
		水田 幸伸	石材施工			宇都 影義	塗装
和歌山県	平成 23 年度	閑根 久夫	とび			前田 満雄	彫製作
島根県	平成 23 年度	森山 恵二	左官		平成 28 年度	脇 孝夫	調理（西洋料理）
	平成 28 年度	横川 誠	表装			赤瀬川 隆樹	建築大工
岡山県	平成 28 年度	坂田 とも子	和裁	沖縄県	平成 28 年度	上間 瞳子	フラワー装飾
		塚本 定男	タイル張り			金城 加代子	和裁
広島県	平成 28 年度	谷口 宜伸	建築板金			新城 忍	彫製作
山口県	平成 23 年度	渡邊 新吾	とび			知花 美枝子	和裁
	平成 28 年度	金子 成志	塗装			仲宗根 恵子	婦人子供服製造
		龜井 洋子	和裁			石原 昌明	調理（日本料理）
		木間 均	調理（日本料理）				
		田島 良美	和裁				

「全技連マイスター（永年保持者）」  
「全技連マイスター（1回目更新者）」の門標のご案内

全技連マイスター認定後 10 年以上、2 回目の更新認定を受けられた「全技連マイスター（永年保持者）」を対象とした章記（門標）を、また、全技連マイスター認定後 5 年以上、1 回目の更新認定を受けられた「全技連マイスター（1回目更新者）」を対象とした章記（門標）を設けました。

全技連マイスターとして、優れた実績と積極的に後進育成等の活動を行っていることをお客様に知っていただくことができます。

\*お申込み・お問い合わせは、一般社団法人全国技能士会連合会までお願いいたします。



永年マイスター門標



1回目更新者門標

(35cm × 11cm × 1cm / 文字の高さ凸 2mm)

## 技能士カード・技能士手帳・技能士章記(楯・門標等)のご案内



技能士カード



シール



ヘルメットマーク



全技連バッチ



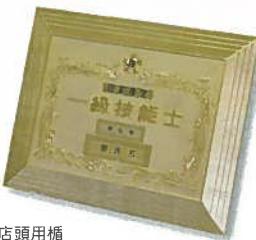
ネクタイピン



屋外用門標



全技連スラップ 技能士ストラップ



店頭用楯



机上用楯



ガラス入り楯

お申込み・お問い合わせは、各都道府県技能士会・連合会へお願いいたします。商品によっては、都道府県技能士会・連合会で取り扱っていないことがありますので、その場合は、一般社団法人全国技能士会連合会までお申込みください。

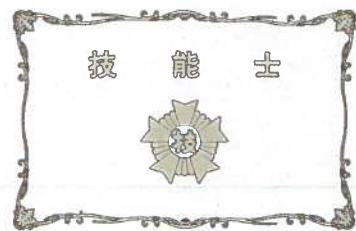
※お申し込みの際は、技能検定合格証書の写しが必要になります。

## 技能実習生向け「基礎級技能士カード」のご案内

令和2年7月より技能実習生向け技能士カード「随時2級」「随時3級」に、新たに「基礎級」合格者の力ードの申込を開始しました。



【サンプルカード】シルバー地のカードです。▶



## 全技連証明書カードのご案内

全技連証明書カードは全技連正会員団体の会員で、技能検定1級、単一等級以上及び全技連マイスター認定者の方が作成できます。

証明書カードは下図A・B・C・Dの4種類です。 縦5.5cm 横9.1cmの名刺サイズ



A 製品証明型 オリーブマーク



B 製品証明型 手縫いマーク



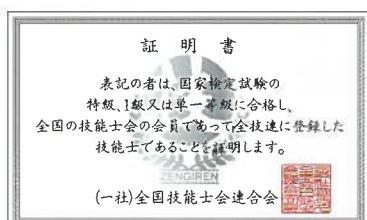
A・B 共通裏面



C 技能士証明型 オリーブマーク



D 技能士証明型 手縫いマーク



C・D 共通裏面

お申込み・お問い合わせは、各都道府県技能士会・連合会へお願いいたします。商品によっては、都道府県技能士会・連合会で取り扱っていないことがありますので、その場合は、一般社団法人全国技能士会連合会までお申込みください。  
※お申し込みの際は、技能検定合格証書の写しが必要になります。

※お申し込みの際は、技能検定合格証書の写しが必要になります。



## 業務内容

### ◎損害保険の代理業務

- 職業訓練生総合保険
- 技能検定委員等の傷害保険
- 全国技能士会連合会団体交通事故傷害保険
- 技能五輪等各種行事に関する保険
- 海外出張時の海外旅行傷害保険
- その他、火災保険・自動車保険・傷害保険等

### ◎技能検定試験問題集 及び技能検定学科試験問題解説集の販売

有限会社 中央労働サービス

所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-8-12  
昇立西新宿ビル6階

電話 03-3367-3931・3932

FAX 03-3367-3933

全技連「匠の技ネット」～技能士のいるお店～  
インターネットでみなさんのお店を紹介してみませんか？

「技能士のいるお店」は、技能検定1級・単一等級以上及び全技連マイスター認定者の方が掲載できます。

★トップ写真の掲載は2つのパターンからお選びいただけます。

| 技へのこだわり

- ▶ 句の素材を使った信州料理
- 四季折々の季節感を演出しながら。お客様に満足していただけるお料理を目指し頑張っています。地元でとれた新鮮な野菜を使い喜んでいただいております。



**【技へのこだわり】**  
技能・技術や作品の紹介をするスペースです  
(2項目まで)  
項目の内容や写真など変更できます  
(変更手数料がかかる場合がございます)

技能士紹介	
▶ <b>山田 太郎</b>	さんぶる館料理長。この道一筋30余年、ひたむきに食を追求してまいりました。平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞。
	
基本情報	
店舗名	夏津温泉 さんぶる館
代表者役職氏名	代表取締役 山田 太郎
技能士氏名	山田 太郎
技能士資格名	準一等級調理技能士
全扶道マイスター認定	
店舗所在地	〒000-0000 ○○県○○市○○町○○ 【MAP】
電話番号	0000-00-0000
FAX番号	0000-00-0000
Email	<a href="mailto:sample@sample.com">sample@sample.com</a>
URL	<a href="http://www.sample.com">http://www.sample.com</a>
営業時間	
定休日	
最寄駅	新幹線○○駅 徒歩00分(タクシー00分)

技能士の方のプロフィールを顔写真付でご紹介します  
ホームページをお持ちの場合は掲載原稿に記載していただければリンクいたします

 登録料	※1 会員：無料 非会員：15,000円
 年間掲載料	※2 12,000円
 変更手数料	※3 2,000円

※1 一般社団法人全国技能士会連合会の正会員である技能士会・連合会等に所属している技能士の方。

\*2 初年度のみ、掲載時期により年間掲載料が減額になる場合がございます。

\*3 年5回までの内容の変更は無料  
ただし、バターン変更は変更回数に関係なく2,000円となりま

す。

お申込み・お問合せは（一社）全国技能士会連合会事務局まで

発行人：一般社団法人 全国技能士会連合会

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町13番地 東京洋服会館6F

TEL 03-5946-8791 FAX 03-5946-8792

<http://www.takuminowaza.net/>

